

令和8年度（2026年度） 北海道江別高等学校全日制課程 学校経営シラバス

スクール・ミッション

- 社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付け、持続可能な社会の実現に努める生徒の育成
- 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- ◎地域の未来を担う創造力・実践力に満ちた人材の育成

目指す学校像（経営方針）

- 1 生徒が自ら学び、探究心に溢れる学校
- 2 生徒の進路希望の実現に向け取り組み続ける学校
- 3 学科の特性や専門性を十分に活かし続ける学校
- 4 人としてあるべき姿を追求し続ける学校

学校教育目標

- 1 一歩踏み出す行動力の育成を図る。
- 2 課題解決に向けた創造力の育成を図る。
- 3 自他を尊重する人間力の育成を図る。

スクール・ポリシー

- 【育成を目指す資質・能力に関する方針】 ～目指す生徒像～
- 地域の未来に主体的に関わる生徒
 - 専門的な知識と実践的な能力を併せ持つ生徒
 - グローバルかつローカルな視点を併せ持つ生徒
- 【教育課程の編成及び実施に関する方針】 ～資質・能力の育成に向けた教育課程～
- 個々の能力、適性、進路希望等に応じ、主体的に学ぶことのできる教育課程
 - 各教科・科目と総合的な探究の時間、特別活動が調和したバランスのとれた教育課程
 - 地域の教育力や教育資源を効果的に活用した教育課程
- 【入学者の受入れに関する方針】 ～求める生徒像～
- 教科学習にとどまらず、部活動や生徒会活動に積極的に参加する意思を持つ生徒
 - 社会における多様性を理解し、協働的に働く生徒
 - 自分の暮らす地域に興味を持ち、地域の未来を主体的に考える生徒
 - 変化を恐れず、自己変革に努めようとする生徒

重点事項

重点目標		(1) 常に前向きで何事にも粘り強く取り組む力を養う。 (2) 自ら課題を見つけ解決に向け考え抜く力を養う。 (3) 公正な判断力や公共心、他者を思いやる心を養う。		
領域	対象	中期目標	今年度の目標	評価の観点
教育活動	学習指導	課題の解決に向け考え抜く力の育成	(1) 基礎基本の確実な定着及び探究する力や創造力の育成 (2) 生徒個々の能力や適性に応じた学習形態や指導方法の工夫 (3) 教師の指導及び生徒の学習の改善につながる学習評価の工夫	①生徒の基礎学力や探究する力等の定着・向上は見られたか。 ②授業展開の工夫やICTの活用などにより生徒の能力や適性に対応した授業を展開できたか。 ③観点別の適切な評価を通して教師の指導や生徒の学習の改善につなげることができたか。
	生徒指導	自他を尊重する心の育成	(1) 基本的な生活習慣の確立と他者への思いやりや公共心の育成 (2) 集団や社会の一員としての自覚の深化及び人間関係を構築する力の育成 (3) 多様化する生徒の実態に応じた適切な指導体制の構築	①生徒の基本的な生活習慣の定着やいじめの防止をはじめ他者を思いやる姿などが見られたか。 ②生徒の集団の一員としての規範意識や協力する姿勢などが見られたか。 ③情報の共有や初動対応、組織的な対応などが適切に行われたか。
	進路指導	自らの目標達成に向け意欲的に取り組む行動力の育成	(1) 主体的に進路を選択する力や望ましい勤労観、職業観を育成するキャリア教育の充実 (2) 生徒個々の能力や適性、進路希望に応じた進路指導体制の構築 (3) 生徒個々の進路目標の実現に向けた家庭、地域、関係機関とのネットワークの充実	①キャリア教育を通じて生徒の主体性や望ましい勤労観、職業観を育成できたか。 ②進路指導部、学年、HR担任が連携し生徒個々に対応することができたか。 ③家庭や地域等への情報提供や家庭や地域等との協働を適切に行うことができたか。
	健康・安全指導	心身の健康保持と健全に生き抜く力の育成	(1) 心身の健康の保持増進のための実践力の育成に向けた保健管理及び保健指導の充実 (2) 学校生活の安全を確保する環境整備と美化意識及び公共物を大切にすることを心身の育成 (3) 教育相談体制の充実及び個々の生徒に応じた適切な対応	①生徒自身が心身の健康を保つ力を身に付けるための指導等の対応を行うことができたか。 ②適切な環境整備や生徒の美化意識、公共物を大切にすることを心により校内環境は整っていたか。 ③配慮の必要な生徒に対し職員間での情報共有や組織的な対応、SC等との連携は行われたか。
	部活動	部活動の適切な運営	(1) 合理的かつ効果的な部活動の運営 (2) 学習との両立による学校生活の充実	①生徒や職員の負担過重とならず心身ともに健康的な部活動が運営されたか。 ②学習活動との両立が実現され生徒の学校生活の充実が見られたか。
学校運営	信頼される学校づくり	倫理観の向上及び保護者・地域等との連携の推進	(1) 自己研鑽及び研修を通じた教育公務員である個人及び学校全体としての倫理観の維持・向上 (2) 保護者や地域等に対する積極的な情報発信 (3) PTAや地域、関係機関等との連携による教育活動の充実	①職員全体の倫理観は維持・向上しているか。 ②学校HPやPTA会議等において適切に情報発信が行われたか。 ③PTA等との連携により教育活動の充実が見られたか。
	組織運営	学校課題の共有と課題解決に向けた協働体制の確立	(1) スクール・ミッションの実現に向けた取組を通じた職員の協働体制の構築 (2) 職員の心身の健康に配慮した働き方の推進と働きやすく相談しやすい職場環境の構築	①スクール・ミッションの実現に向け職員が協働する姿が見られたか。 ②在校等時間の減少や職員が相互に声を掛け合う姿が見られたか。
	職員の資質向上	専門性と資質能力の向上	(1) 自己研鑽及び研修を通じた職務に関する専門性の向上 (2) 職員間での連携・協働による対応を通じた学校全体での対応力の向上	①主体的な取組が行われ職員個々の職務に関する専門性の向上が見られたか。 ②様々な問題に対し職員間で協働し解決することができたか。